

事業者における自己評価結果（公表）

別紙 3

公表：令和 7年 4月 1日

事業所名 放課後等デイサービス ひなた

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・利用定員10名 ・活動ごとにエリア分けを行っています。	
	②	職員の配置数は適切である	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	・段差や角にコーナークッションを取り付ける等安全面に配慮しています。 ・障害特性に配慮して構造化を行っています。	
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			・個人目標やチーム目標を定め、日々の支援に繋げています。ただ、まだ徹底できていない部分があるため早急に改善します。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・日々の送迎時や面談時に聞き取りを行い、常に保護者の意見を確認できる体制を整えています。また、年に一度の評価表は活用していますが独自のアンケートは実施できていません。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・自己評価の結果はHPにて公開しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・相談支援員さんや関連機関の方が来所された際に意見等を頂戴し、業務改善のヒントにしています。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・外部からの講師を招いて定期的に研修を実施しています。	・研修参加の充実を図り、職員一人一人のスキルアップを図ります。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・最低でも年に2回、モニタリングの実施を行い、アセスメントを基に計画書の作成をするように努めています。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・理解のアセスメントなどは標準のシートを活用しています。 同時にオリジナルのツールの作成・活用もしています。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・イベント等のプログラムはスタッフ全員で立案を行っています。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・個別化に重点を置いて日々支援を行っています。定期的に見直しを行い、成長に合わせて活動の変更を行っています。	・出来る限り個別化しないように工夫していますが、特性上変化に困難さがみられる際は、スモールステップを心掛けて活動を設定しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・個別のスケジュールを使用し、設定しています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・社会性のレベルに合わせて集団活動の設定を行っています。また、本人の要望やニーズも組み込んで作成しています。	

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・支援開始前に打ち合わせをする時間を設けています。 ・参加が出来なかったスタッフへは、朝礼記録を基に個別で伝えるようにしています。	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・勤務時間の都合により、翌日の支援開始前に実施しています。	

⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・活動や課題で気になるところを中心に、日々記録を入力しています。	
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・半年に1回のモニタリングの実施、保護者からのニーズ、スタッフからの意見を聞き取り、計画書の見直しを行っています。	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・主に管理者、もしくはサビ児管が参加しています。	
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		・送迎時や、電話連絡を活用して情報共有を行っています。 ・事業所からも、毎月の利用予定表を作成し、送信しています。	
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		・現在までに、該当する児童なし。
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・相談支援員を通じて、情報共有に努めています。	
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		・移行先から要望があれば、いつでも情報提供できるように準備しています。	
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		・専門機関ではありませんが、発達障害児への支援の方法等については、アドバイザー契約を結び研修の機会を設定しています。
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	・近隣の公園などを利用した際に交流の機会があります。	
㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○		・今後参加出来る体制作りを行っています。
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・送迎時の時間を活用して口頭で伝達や、連絡ノートを活用して情報共有に努めています。	
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		
㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に説明を行っています。 また、運営規定や重要事項などは施設入り口に提示しています。	
㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・電話や家庭訪問等、必要に応じて対応しています。	

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・昨年度一度保護者向けの研修を開催しました。今後も課題やニーズに沿った内容で研修会を設定していきます。	
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・苦情受付担当者、解決担当者を設置し、迅速な対応が行えるように整備しています。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・ブログやインスタグラムを活用し、日々の様子を発信しています。	
	③⑤	個人情報に十分注意している	○		・個人ファイル等は、鍵付きのキャビネットに保管しています。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・一人ひとりの障がい特性に配慮し、理解出来る形態で伝えるよう努めています。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	・保護者への周知が徹底出来ていません。	・いつでも閲覧できるような仕組み作りを行います。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・不定期ではありますが、月に一回実施しています。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・少なくとも、年に一回は研修の機会を設定し実施しています。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	・マニュアルの作成は行っています。	
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		・現在までに対象となる児童なし。食物アレルギーの有無については、契約時に聞き取りを行っています。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ファイリングをして保管しています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙 4

公表：令和 7年 4月 1日

事業所名 放課後等デイサービス ひなた

保護者等数（児童数）23 回収数 17 割合 74%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	4	2	1	・人数に対して狭い。 ・ひみつ基地としては最適であるがちょっと狭い。	・学校休校日や長期休暇時は近隣の公園や施設を活用しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	2	0	1	・少ない気もします。	・基準は満たしています。また、研修等を通じて専門性の向上を適宜図ります。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	8	0	3	・不明。	・階段や段差部分にスロープを設置しています。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ¹ が作成されているか	16	1	0	0		
	⑤	活動プログラム ² が固定化しないよう工夫されているか	17	0	0	0		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	7	4	2	・特に希望していません。 ・不明。	・近隣の公園や施設使用時に交流する機会があります。
保護者 への 説明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	1	0	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	0	0	0	・いつも帰りに子どもの様子を伝えてくれて助かります。	・送迎時の報告や必要に応じて電話連絡を行い、ひなた内での様子や課題の共有を行っています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	1	0	1		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	3	7	1	・特に希望していません。	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	2	0	1		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	0	0	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	1	0	1		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	13	4	0	0		

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	4	2	1		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	6	0	1		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	17	0	0	0		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	17	0	0	0		

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。